

活動報告

団体名	四日市東日本大震災支援の会
活動名	熊本県西原村の仮設住宅と災害公営住宅に交流イベントで寄り添い続ける活動
活動期間	2018年2月～2019年3月
活動の成果	四日市東日本大震災支援の会が支援をしてきた熊本県西原村の仮設住宅の自治会長さんより、継続的なサロン活動により、住人が元気を得たという言葉いただきました。本助成をいただいた期間、当初は収容力の制約で各棟別々にサロン活動を行ってききましたが、2018年の秋以降は、全世帯に声掛けをして集中して交流会を行うようになり、新しい茶飲み友達ができ、という言葉もいただきました。継続的な活動で、徐々に名前を覚えてもらうようになるケースも多くなり、「〇〇ちゃんは、今回は来ないの？元気にしているかな？」などと、遠くにいる孫に思いを寄せるような言葉をいただいたりすることもありました。支援の会の取り組みが仮設住宅での不自由な生活に潤いと癒しを届けたと実感できた瞬間でした。本助成の終了後も、仮設住宅が完全に解消されるまでは、できるかぎり支援活動を続けていきたいと思っております。
寄付者へのメッセージ	多くの皆さんの支援に支えていただき、われわれの活動ができています。われわれは、熊本県西原村の仮設住宅の住人の皆さんに、今後も寄り添っていく決意です。皆さんに深く感謝しています。常に多くの方の支えがあって活動ができているという認識に立ち、仮設住宅の皆さんが笑顔になるよう、精いっぱい頑張っています。今後も全ての仮設住宅の住人が安心して暮らせるよう、そして生活再建に少しずつでも進めるよう、西原村に寄り添い続けていきたいと考えております。

(活動のようす)



